

第2学年 学年経営方針

1. 基本方針

- (1) 竹田南部中学校の中堅学年としての自覚と誇りを持たせるとともに、本校の校訓や教育目標に基づき、主体的に行動できる生徒の育成を目指す。
- (2) 学習習慣や基本的な生活習慣を身につけさせるとともに、人権を尊重し、平和を愛する人間性豊かな生徒の育成を目指す。

2. 学年重点目標

- (1) 基本的な学習習慣を身につけさせ、自ら進んで粘り強く学習する意欲を持つ生徒を育てる。
- (2) 生活のリズムを作り、前向きな姿勢で諸活動に取り組む生徒と、居心地の良さが感じられる集団を育てる。
- (3) 職業講話や職業体験で、働くことの意義や職業観について学ぶことで、自分の将来に対して前向きな気持ちで生き方を考える生徒を育てる。
- (4) 家庭との連携を密にしながら、生徒の成長を学校と家庭の両面から支えていく体制をつくる。

3. 具体的な指導

(1) 学習指導

- ①「授業のルール」などをもとにして学習規律を確立し、正しい学習習慣を身につけさせる。
- ②主体的・対話的で深い学びを引き出す授業に取り組み、自己肯定感を高めさせ、意欲をもって学習に取り組もうとする気持ちを高めさせる。
- ③自学ノートに取り組みさせ、一人ひとりの学習実態を把握し、個に応じた支援を行う。
- ④朝読書の時間を活用し、新聞コラム学習に取り組むことで思考力や、表現力の育成を行う。

(2) 生活指導

- ①規則正しい生活を心がけさせ、生活のリズムをつくり、諸活動や様々な行事に前向きに取り組ませる。
- ②竹田南部中学校の中堅学年としての自覚をもたせ、生徒会活動や学校行事・清掃活動等に、協力しながら積極的に取り組ませる。
- ③互いのつながりを大切にするコミュニケーションのあり方を意識させ、お互いが居心地のいい集団づくりを心がけさせる。
- ④自分自身の言動について、善悪の判断が正しくできる力を身につけさせる。
- ⑤SNSやゲーム・動画等への依存の危険性を知らせると共に、家庭内でルールを決めさせ、守らせることで、機器の健全な使用を目指させる。

(3) 進路指導

- ①職業講話や職業体験をすることで、働くことの意義について学び、自分の将来について前向きに考えようとする意欲の向上を図る。
- ②上級学校のしくみや特色を調べ、中学校卒業後の自分自身の進路選択の礎とする。